

駒ヶ根民報

No.1396

2018.3.4

日本共産党

駒ヶ根市委員会

Tel 83-2969

駒ヶ根市議会3月定例会開会 予算、条例、補正予算など36件

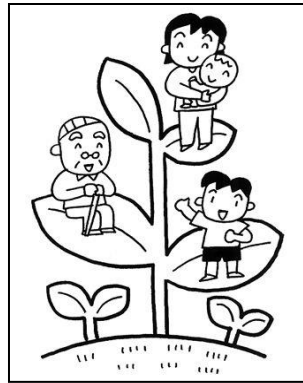
2月22日に平成30年度第1回駒ヶ根市議会定例会が開会され、議案と報告36件が上程されました。

平成30年度一般会計予算は149億7400万円で、前年度当初予算比5億2100万円、3.6%の増です。

特別会計・企業会計合わせた総合計は、253億5950万円、前年比1億681万円0.4%の増になっています。

歳出の主な事業は、地域

交流センター(赤穂公民館等整備)に、3億4809万円、駒ヶ根駅前広場整備に1億5千万円、企業版ふるさと寄付金を活用して檜尾小屋の改修と登山道・道標整備に、7962万円、学力向上や健やかな学校生活に向け、各種支援に必要な職員配置に2508万円、赤穂小学校体育館吊り天井耐震対策2660万円、公立保育園・幼稚園の運営3億2117万円、



AEDのコンビニ配備13店舗に46万円、市営住宅の住環境整備3624万円。

市民プール撤去と北ノ原公園基本計画に、4000万円、中割経塚線の西側延伸継続に1億6900万円。

福祉医療費に1億6190万円、子ども医療費は窓口無料(負担金1レセプト500円はそのまま)が8月より実施。

伊南桜木園移転改築(旧エコープ中沢店)に3850万円、石川県かほく市と友好都市提携に258万円などです。市債残高は年度末208億4882万円、平成29年度見込み比マイナス2億720

4万円です。将来負担比率見込みは、平成28年度決算は191.8%、29年度見込みは191%程度、30年度見込みは183%。当面は高い数値が続いていきますが、徐々に下がる傾向にはなっています。

特別会計では

介護保険特別会計

予算額は31億899万円で前年比4599万円の減です。介護保険料は、65歳以上高齢者の割合増加を受けて介護保険事業費に占める保険料の割合が、22%から23%への改正となる影響で基準月額110円の引き上げと説明されています。

歳出は減少しており、新年度から介護予防関連はボランティアの皆さんの協力で運営されていく中で保険料引き上げは市民への姿勢として理解しにくいと言わざるを得ません。

国民健康保険特別会計

予算額は28億3373万円で前年比7億3572万円、20.6%の大幅な減となっています。

一般会計からの繰入金には保険給付費の減少見込みなどにより1億9135万円で5409万円、22.0%減少しました。

国保税の引き上げはありません。

市議会全員協議会の報告

2月21日の市議会全員協議会に、エコーシティ駒ヶ岳、土地開発公社、駒ヶ根高原温泉開発、駒ヶ根市給食財団、駒ヶ根市文化財団の経営状況が報告されました。

駒ヶ根市スポーツ推進計画後期計画の素案について、第7期介護保険料の改定(特別会計の項を参照してください)等についての説明。

下平工業団地への企業立地については、(株)大杉運輸。日進乳業グループ企業で、アイスクリーム、冷菓、冷凍食品等の全国へ配送業です。

伊南行政組合議会

全員協議会へ、昭和伊南総合病院の新病院建設建て替え計画の素案が報告されました。増改築では限度があり抜本的対応が必要な状況である。あり方検討会を立ち上げ検討を始める。質疑では、今の病院をそのまま建て替えるという考え方はないとの答弁です。

議会構成一部変更

岩崎康夫副議長が議員辞職したことにより議会構成は一部変更しました。坂本裕彦議員が副議長、上伊那広域連合議会議員になりました。伊南行政組合議会議員に、池上善文議員です。

駒ヶ根市議会

第1回(3月)定例市議会日程

2月22日(水) 市議会開会 提案説明、質疑

3月 5日(月) 一般質問、5人

6日(火) 一般質問、5人

午前11時頃、竹村誉議員

- 1、介護保険料の改正について
- 2、地区集団検診の廃止、受診率向上のねらいは
- 3、伊南桜木園を含む、障がい者就労支援施設のあり方を問う
- 4、連携のまちづくりは

午後3時頃、坂本裕彦議員

- 1、太陽光発電所の設置に関する住民合意手続きは
- 2、働き方改革と教員の業務改善は子どものためにも急務では

3月 7日(水) 総務常任委員会

8日(木) 建設産業常任委員会

9日(金) 教育民生常任委員会

16日(金) 本会議 質疑 討論 採決